

福米中学校区 小中一貫カリキュラム 国語科「話すこと・聞くこと」

「話すこと・聞くこと」における中学校区の子どもの課題：
 ○話すこと、聞くこと、話し合うこと全ての事項において課題があるが、特に自分の考えと比較しながら聞くこと、相手の立場や考えを尊重して話し合ったり、自分の考えを広げたりすることが苦手である。



改善の視点：
 ○アクティブラーニングを取り入れ、授業の中で話し合う必然性を作る。
 ○聞くことに関しては、学級でのルール作り（学習規律）を徹底すること。
 ○ペア対話やグループ対話などを取り入れ、必ず音声表現する場を設定すること。

	前期		中期		後期		9年間で付けたい力
	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校1学年	中学校2学年	中学校3学年	
段階	言語感覚を養い、日常的な表現力を身に付ける段階		目的や意図に応じた表現力を身に付ける段階		他者の考えにふれ、自らの考えを深め、適切な表現力をさらに充実させる段階		
各段階における目標	相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。		目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。		目的や場面に応じ、社会全体にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。		
話題設定や取材に関する指導事項	○身近なことや経験したことなどから話題を集め、必要な事柄を思い出すこと。 ○関心のあることなどから話題を集め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。		○考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係づけること。 ○日常生活の中から話題を決め、お互いの体験や考えを出し合って整理すること。		○話題を決め、様々なメディアを使うなど多様な方法で話し合うための材料を集め、整理すること。 ○体験や知識を整理して考えをまとめ、説得力のある話をする		広い範囲から話題を求め、集めた情報を効果的に活用し、的確に自己表現しようとする。
ステップアップポイント	身近なこと ↓ 関心のあること ☆話題をより広い範囲に広げ、調べる活動も取り入れる。		知識や情報を関連づけること ↓ 人との交流を通して材料を集めること ☆自分だけから人との交流へ		話し合うための材料を集め、整理すること ↓ 集めた資料などを活用して説得力のある話をする ☆話し合うための材料の収集と整理から活用へ		
話すことに関する指導事項	○相手に応じて話す事柄を順序立てること。 ・丁寧な言葉と普通の言葉の違いに気をつける 姿勢や口形、声の大きさや速さに気をつけること ○相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立てること。 ・相手意識 ・言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す。 ・適切な言葉遣い		○目的や意図に応じて話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。 ・共通語と方言との違いの理解 ・必要に応じて共通語で話すこと。 ○全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応をふまへながら話すこと。 ・話す速度や音量、言葉の調子や間、相手に応じた言葉遣いなどの知識を生かすこと。		○異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめること。 ・話の中心的な部分と付加的な部分に注意して論理的な構成や展開を考えて話すこと。 ○場の状況や相手の様子に応じて話すこと。 ・敬語を適切に使うこと。		論理的な構成や展開を考えると同時に、場の状況や相手の様子に応じて話そうとする。また、敬語を適切に使う。
ステップアップポイント	順序立てて話すこと ↓ 理由や事例を挙げながら筋道を立てて話すこと ☆順序から筋道を立てた話へ		目的や意図に応じた話の構成 ↓ 全体と部分、事実と意見との関係に留意した話の構成 ☆目的や意図に応じた話から相手の反応をふまえた話へ		論理的な構成や展開を考えて話すこと ↓ 資料などを活用して説得力のある話をする ☆目的や状況に応じて話すから場の状況や相手の様子に応じて話すへ		
聞くことに関する指導事項	○大事なことを落とさないようにしながら興味をもって聞くこと。 ○話の中心に気を付けて聞き、質問したり、感想を述べたりすること。		○話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見とくらべるなどして考えをまとめること。 ○必要に応じて質問しながら聞き取り自分の考えとの共通点や相違点を理解すること。		○話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較して聞くこと。 ○聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。		聞き取った内容や表現の仕方から自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりしようとする。
ステップアップポイント	大事なことを落とさないようにすること ↓ 話の中心に気をつけること		自分の意見とくらべるなどして考えをまとめること ↓ 自分の考えとの共通点や相違点を整理すること		自分の考えと比較すること ↓ 自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること		
話し合うことに関する指導事項	○互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。 ○共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行にそって話し合うこと。		○立場や意図をはっきりさせながら計画的に話し合うこと。 ○話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。		○相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。 ○話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。		相手の立場や考えを尊重し、課題解決に向けて互いの考えを生かし合おうとすること
ステップアップポイント	話題に沿って話し合うこと ↓ 進行に沿って話し合うこと		計画的に話し合うこと ↓ 話したり聞いたりして、自分の考えをまとめること		自分の考えを広げること ↓ 互いの考えを生かし合うこと		

福米中学校区 小中一貫カリキュラム 国語科「書くこと」

「書くこと」における中学校区の子どもの課題：
 ○文や文章を書くこと自体に苦手意識をもっている。
 ○構成を考えた文章を書くことやそれを推敲して書き直したり、互いに交流して意見を述べ合うことは大変難しい。



改善の視点：
 ○毎時間の授業の中に書く活動を入れていく。
 ○各学年で付けたい力を明確にして系統的に指導していく。
 ○段落相互の関係や文章の構成について指導する単元を明確にする。

	前期		中期		後期		9年間で付けたい力
	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校1学年	中学校2学年	中学校3学年	
段階	言語感覚を養い、日常的な表現力を身に付ける段階		目的や意図に応じた表現力を身に付ける段階		他者の考えにふれ、自らの考えを深め、適切な表現力をさらに充実させる段階		
各段階における目標	相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身につけさせるとともに、工夫をしながら書くこととする態度を育てる。		目的や意図に応じ、日常生活に関わることなどについて、構成を考える的確に書く能力を身につけさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。		目的や意図に応じ、社会生活に関わることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身につけさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。		
課題設定や取材に関する指導事項	○経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書くこととする題材に必要な事柄を集めること。 ○関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。		○考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。 ○日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。		○社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。 ○社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めること。		社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めようとする。
ステップアップポイント	経験したこと ↓ 関心のあること ☆話題をより広い範囲に広げ、調べる活動も取り入れる。		考えたことから→書く事柄を収集し、整理すること ↓ 日常生活の中から→材料を集め、自分の考えをまとめること ☆自分の考えから事柄を整理して書く→日常生活の課題から自分の考えをまとめて書く		多様な方法で書くための材料を集め、考えをまとめること ↓ 取材を繰り返しながら考えを深めること ☆考えをまとめるから深めるへ		
構成に関する指導事項	○自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ○文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。		○自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。 ○集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。		○自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。 ○文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。		文章の形態を選択して適切な構成を工夫しようとする。
ステップアップポイント	順序立てて書くこと ↓ 段落相互の関係に注意して書くこと ☆順序に沿って書くことから段落の役割を理解して書くことへ		自分の考えを明確に表現して文章を構成 ↓ 集めた材料を分類、整理して文章を構成 ☆考えたことを書くことから日常生活に関することを書くことへ		伝えたい事実や事柄を明確に文章を構成 ↓ 文章の形態を選択して文章を構成 ☆わかりやすく文章を書くことから論理の展開を工夫して書くことへ		
指 導 事 項	○語と語や分と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。 ○書くこととする中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書いたり、敬体と常体の違いに注意しながら書いたりすること。		○事実と感想、意見などを区別するとともに、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。 ○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。 ○伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。		○事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。 ○論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。		論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書く。
ステップアップポイント	つながりのある文や文章を書くこと ↓ 書くこととする中心を明確にすること		事実と感想、意見などを区別して書くこと ↓ 自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと		伝えたいことが効果的に伝わるように書くこと ↓ 説得力のある文章を書くこと		
推敲に関する指導事項	○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気付き、直すこと。 ○文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。		○表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。 ○書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすくわかりやすい文章にすること。		○書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすくわかりやすい文章にすること。 ○書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。		書いた文章を読み返し、文章全体を整えようとする。
ステップアップポイント	間違いに気付き直すこと ↓ よりよい表現に書き直すこと		表現の効果を工夫すること ↓ 読みやすくわかりやすい文章にすること。		段落相互の関係にも注意すること ↓ 文章全体を整えること		
交流に関する指導事項	○書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。 ○書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。		○書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。 ○書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。		○書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。 ○書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めること。		書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深める。
ステップアップポイント	よいところを見つけて感想を伝え合う ↓ 考えの明確さなどについて意見を述べ合う		表現の仕方を助言し合う ↓ お互いの文章について意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりする		自分の考えを広げること ↓ ものの見方や考え方を深めること		